

AIが「ながら」「あおり」運転に一役！

- ・運転の“クセ”を短時間で把握、分析
- ・同乗型指導 ⇒ AIによる安全指導へ

(株)オガワエコノス(広島県府中市高木町 小川 勲代表)は、このたび、株式会社 Mobility Technologies ※1)のAIドライブレコーダー「DRIVE CHART」を広島県内で初導入することになりましたので、ご案内申し上げます。

AIドライブレコーダーは、運転者を自動認識し、運転者の動き、センサー、前方カメラ、位置情報から、今まで検知できなかった、一時停止指定場所での不停止、車間距離不足、わき見運転(ながらを含む)も記録することが可能となっています。

また、一度認識した顔の情報は、同じシステムがある他の車両でも自動認識されるため、車両の乗り換えが多い場合にも、個人の特特定を行うこと可能となっています。

弊社では、日ごろから安全指導として同乗パトロールをしていますが、短時間でドライバーの運転の癖を把握することはできませんでした。AIドライブレコーダー導入により、「感染症対策を含めながら、同乗しない安全指導」を行い、交通事故の削減を目指していく所存です。

以上

導入数：3台

導入時期：7月

本件の担当

(株)オガワエコノス 業務部 安達 te-adachi@o-econos.com

府中市本山町 530-85 Tel 080-2916-8737

本体と全面カメラ



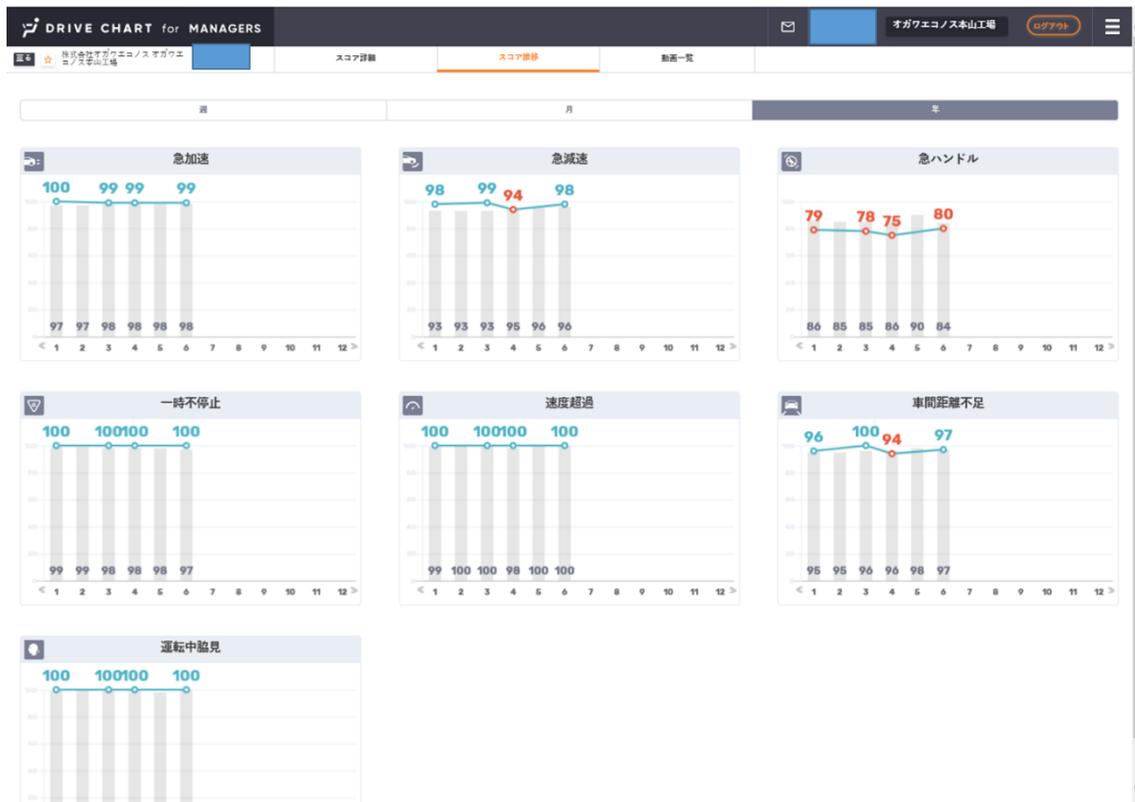
運転者カメラ



実際の検知状況（例）急ハンドル

A screenshot of a driving simulation interface. The left side shows two camera views: the top one is a forward-facing view of a road with a red 'X' marking, and the bottom one is a driver's perspective showing a driver wearing a yellow hard hat and a white face mask. The right side is a Google Maps interface showing a sharp turn icon on a road. Below the maps, there is a play button, a progress bar, and text indicating '27 km/h' and '0:18/0:20'. At the bottom, there is a '急ハンドル' (Sharp Turn) event label and a '誤判定申請' (Appeal) button.

個人別の集計データ表の例（急ハンドル、車間距離不足の傾向がある）



メーカー資料より

検出する危険シーン(予定も含む)

将来的にも検出する項目を増やしていき、注意喚起や安全意識の向上を目指す

検出する危険運転行動	詳細	加速度 ジャイロセンサー	GPS 地図情報	外内 カメラ
急加速・急ブレーキ	検出する基準を会社/営業所毎にカスタマイズ	✓	—	—
急ハンドル	検出する基準を会社/営業所毎にカスタマイズ	✓	—	—
一時不停止	地図の一時停止箇所とGPSから不停止を検出	—	✓	—
制限速度超過 (低速路含む)	狭い道など事故リスクが高い地点の速度超過を検出	—	✓	—
車間距離不足	速度に応じて検出する距離を調整	—	✓	✓
脇見	一定時間継続して脇見している状態を検出	—	✓	✓
前方車両衝突	前方車両、二輪車との相対速度を捉え警報を出す	✓	✓	✓
居眠り・眠気	顔の部位の動きから居眠り・眠気を検出	—	✓	✓
シーン別危険速度	例えば、交差点への進入速度が十分に落ちているか検出	✓	✓	✓
歩行者・自転車保護	狭い道で人などを追い越す際、十分な間隔があるか検出	✓	✓	✓
危険な後退	十分な確認時間をとられていない後退を検出	✓	✓	✓

開発中

サービスイン後も順次機能を追加(機器の交換は不要)